

第4学年竹組 学級活動指導案

指導者 塩谷 貴
H27. 11. 17 (2校時)

1 議題 「4竹ボールでなかよくなるう」 <(1)のア>

2 議題について

(1) 児童の実態 (男子12名, 女子13名, 計25名)

本学級の児童は明るく元気で、学習活動にも一生懸命に取り組んでいる。休み時間は、短い時間であっても外遊びや体育館での遊びを積極的に行う児童が多く、体を動かしたり友達と一緒に遊んだりすることを楽しみにしている。だが、一人一人の考え方の違いが大きく、休み時間の遊び方で意見の相違があったり、他の人の考え方を受け入れられずにトラブルになったりすることもある。

3年生までの学級活動では、計画委員を順番に経験したりお楽しみ会を計画したりしてきた。自分たちが立案・計画し、それを実践してきたことに楽しみを感じており、学級活動にも前向きに取り組もうとする児童が多い。しかし、積極的に意見を発表する児童がいる一方で、ほとんど発表しない児童もいる。また、自分の意見を一方的に主張したり、他の人の発表の途中で口を挟んでしまったりするなど、話合いのルールを守れない場面も見られる。

4年生では、学級のみんなが楽しくなるためにはどうするとよいか、学級がもっとよくなるにはどんなことをしたらいいのか、という目的意識を常にもたせながら議題集めや話合い活動、実践を行ってきた。当初は話合いの議題から逸れてしまったり、時間が超過してしまったりすることもあったが、次第に目的に向かって話合いを行うことができるようになってきた。また、話合い活動や実践を多く経験することによって、自らの意見を主張することの楽しさや自分と他者との意見の相違を認め、よりよい方向へ進めようとする意識も見られるようになった。今後は、これまでの経験を生かした上で、発表の根拠や理由を明確にし、それらを常に意識しながら話合いを進めたり、自らの意見を主張しつつも、互いの意見を尊重し合いながらよりよい集団決定を行えるようにしたりしていきたい。

(2) 議題選定の理由

本議題は、冬季間になると休み時間の遊び方に制限が生まれることや、各学級に配布されているビニールボールの使い方がまだ明確でないことから、多くの児童の必要感から選定されたものである。

本校は全校児童数が500名程度の中規模校であるが、児童数の割に自由に遊ぶことのできるスペースに限りがあり、遊び方がかなり限定的になってしまっている。天気の良い日であれば外に遊びに行くこともできるが、遊び場までの距離が遠いこと、他学年との共有スペースであることからなかなか自分たちの遊びたいことをできずにいる。また、休み時間には体育館も使用できるが、学年別に朝休み、長休み、昼休み毎に使用時間が割り振られていて、使用できる回数は1週間にほんの数回程度しかない。さらに工事のため9月からは体育館が使用不可になってしまい、雨の日などは外でも体育館でも遊ぶことができず、室内遊具での限定的な遊びしか行えなくなってしまっているのが現状である。12月には再び体育館が使用できる予定であることから、これまでの遊び方に加えて、ボールを体育館で使う際の遊び方や約束など、もっと休み時間をみんなで楽しく過ごすことのできる工夫が可能な議題であると考えている。

話合いでは、学級目標「明るい笑顔 なかまと助け合う やさしい4竹」に基づきながら、「みんながなかよく遊べるようなボールの遊び方」を考えていく。常に学級全体のことを考え、相手の立場を考えながら話合いに参加していこうとする姿勢を大切にしていきたい。そして、どんな遊び方であればクラスみんなが明るく笑顔になれるのか、みんなが参加し、なかよくなるにはどうすればよいかを常に考えさせながら話合いに取り組みせていきたい。話し合うことは、「どんなボール遊びがよいか」、「ボールを使うときのやくそく」の2点とする。一部の人だけがボールを使えるのではなく、遊びたいと思ったときにクラスみんながいつでも、誰でも遊べる遊び方を目指して、進んで発表したり自分と他の人の意見を比べ合ったりしようとする姿勢を大いに認めていきたい。そして話合いを通して、互いを尊重する気持ちや思いやる気持ちをさらに深め、自分たちの力でよりよい学級生活を創っていこうという自主的、実践的な態度をさらに育んでいきたいと考える。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

4 事前の活動【計画委員会と学級全員の活動】

日時	児童の活動 計 全 提	計画委員会 学級全員 提案者	指導上の留意点	目指す児童の姿 と評価方法
11月4日 (水) 帰りの会	全	・事前に選定されていた、よりよい議題を確認する。	・選定した議題について、全員に知らせる。	
11月5日 (木) 長休み 帰りの会	計	・提案者を選定する。 ・次の議題の承認を得る。 ・役割分担と提案者を知らせる。	・計画委員の提案をもとに全員で議題を確認し、意欲を高める。 ・議題を提案した人の中から、より深い思いや根拠を示した人に提案者を依頼させる。	【関心・意欲・態度】 ・学級目標を実現するために話し合うことを再確認し、議題の意義を感じ取っている。 <議題カード・観察>
11月6日 (金) 朝の活動 ～ 11月9日 (月) 朝の活動	計 提	・提案理由を確認する。 ・話し合いのめあてを決める。 ・活動計画を決定して、学級活動ノートを作成する。 ・学級会コーナーに活動計画を掲示する。	・みんなに提案の趣旨が伝わるような、分かりやすい提案理由になるように助言する。 ・提案者の提案理由に沿って、話し合いのめあてを決定する。 ・ボール遊びの開始日時、条件、話し合うこと等を明示し、話し合いの見通しを持たせる。	【知識・理解】 ・「みんながなかよく楽しく遊べるボール遊び」をするために話し合わなければいけないことや、話し合いの準備の仕方を理解している。 <活動計画>
11月10日 (火) 朝の活動 昼休み	全 計 提	・学級活動ノートに自分の考えを記入する。 ・活動計画書を書く。	・条件を共通理解させる。 ・提案理由の大事な言葉や、話し合いのめあてを意識しながら考えるように、助言する。	
11月11日 (水) 長休み 昼休み ～ 11月13日 (金) 昼休み	計	・全員の学級活動ノートに目を通す。	・司会・副司会は、意見に目を通して一人一人の事前の意見を把握しておくが、必ずしもそれにとらわれなくてもよいことを伝えておく。 ・黒板記録は、ノート記録と協力しながら意見カードを作成し、黒板貼付に備える。	【思考・判断・実践】 ・みんながなかよく楽しく遊べるような意見を考え、どんな遊び方や約束があるかを考え、

11月16日 (月) 帰りの会	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">全</div> <ul style="list-style-type: none"> 学級活動ノートを受け取り、教師からの言葉や自分の考えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 配布前に教師からの励ましの言葉を書き添えておき、話合いに参加する意欲を高める。 提案理由や話合いのめあてを再確認しながら、自分の考えを確認しておくよう助言する。 	ノートに書いている。 <学級活動ノート>
11月16日 (月) 放課後	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">計</div> <ul style="list-style-type: none"> 話合いの進行の仕方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員の学級活動ノートを確認しながら準備したことをもとに、話合いの見通しをもたせる。 	

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

○みんながなかよく遊べるようなボールの遊び方を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

当日配布

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 はじめのことば		
2 役割しようかい	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が、自分のめあてを言えるように指導しておく。 	
3 議題の確認		
4 提案理由と話合いのめあて確認	<ul style="list-style-type: none"> 提案者の思いを全員が理解し、話合いの指標となるように指導し、めあてと連動させておく。 	
5 決まっていること確認		
6 話合い	<ul style="list-style-type: none"> 提案理由やめあてを意識し、みんながなかよくなれるようなボール遊びを考えていくよう助言する。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案理由を自分の意見の拠りどころとし、みんながなかよしく遊ぶような遊び方を考え、発言している。 <p><観察・学級活動ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> 計画委員としての役割を自覚し、楽しい学級生活をつくるための集団決定ができるよう、協力して会を進行している。 <p><観察・活動計画></p>
①どんなボール遊びがよいか	<ul style="list-style-type: none"> 根拠をはっきりさせて発表させ、聴く側も根拠に注意して聴くようにさせる。 	
②ボールを使うときのやくそくの確認	<ul style="list-style-type: none"> 自治的活動の範囲を超えそうなときは、必要に応じて助言する。 できるだけたくさんの方の考えを引き出すように指名することを助言する。 自分の考えのみに固執せず、互いの考えに耳を傾けながら、無理なく公平に折り合いをつけさせていく。 	
7 決まったこと発表	<ul style="list-style-type: none"> 少数意見も大切にし、納得した上で決定につなげていく。 	
8 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 自分の反省と共に、友だちの頑張りやよさにも目を向けさせる。 	
9 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> 提案理由を意識した発言や学級全体を考えた建設的な発言を大いに称賛する。 計画委員にねぎらいの言葉をかけ、実践への見通しをもたせながら意欲を高める。 	
10 おわりのことば		

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月18日 (水) 朝の会 休み時間 放課後	<ul style="list-style-type: none"> 決まったことを学級会コーナーに掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート記録を生かし、必要な部分を補足掲示する。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 決まったことを守ろうとしたり、実践に進んで取り組もうとしたりしている。 <p><観察></p> <p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで決めたことを大事にしながらボール遊びをしている。 <p><観察・振り返りカード></p>
12月16日 (水)～ 12月21日 (月) 朝の活動	<ul style="list-style-type: none"> 感想等を振り返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 話合いで決まったことを大切にして実践するよう呼びかける。 自分たちの力でよりよい学級生活をつくるようとして頑張ったことを価値付けする。 	

板書1 黒板右柱 (学級会コーナー)

議題 四竹ボールでなかよくなるう

話し合う日 十二月十七日 (水) 一時間目

提案理由 雨の日が多くなつてきて、外で遊ぶことができなくなつてきました。これから体育館で遊ぶことがふえてくるので、またクラスのボールがわたされたので、みんながボールを使って、体育館でなかよく遊べるような遊び方を決めた方がいいと思つて、提案しました。

決まっていること

- ①遊ぶ日時は十二月十六日(水)の朝と二十一日(月)のお昼休み
- ②二週ずつ松、竹、梅が体育館の半分をさせる
- ③ボールをけつて遊ぶことはできない

話し合いのめあて
みんながボールを使って、体育館でなかよく遊べる遊び方を考えよう。

話し合うこと

- ①どんなボール遊びがよいか
- ②ボールを使うときのやくそく

板書2 黒板)

第十二回 わかば会議

議題 四竹ボールでなかよくなるう

めあて みんながボールを使って、体育館でなかよく遊べるゲームや遊び方を考えよう。

話し合うこと

①どんなボール遊びがよいか

- ドッジボール：だれでもルールを知っている
- かんたん
- ハンドベースボール：体育で勉強したから知っている
- 野球：にてもおもしろい
- バレーボール：テレビで見てもおもしろそう
- ドッジボール：ドッジボールとおにごつこが同時にできる

他

②ボールを使うときのルール (確認)

- ボールの準備や後片付けのしかた
- 遊ぶときのちゆうい
- ボールをおいておく場所

みんながなかよく